

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	子ども・子育て支援課長 河原 賢	電話番号	0852-22-6071
----------	------------------	------	--------------

事務事業の名称	保育所等整備支援事業		
目的	(1) 対象	保護者が居間家庭にいない小学生及びその保護者	
	(2) 意図	希望する児童が必要な水準以上の施設で育成支援を受けることができるよう放課後児童クラブの施設の整備を図る	
事業概要	国と協調して、市町村や社会福祉法人等が行う放課後児童クラブの施設整備を支援する		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	放課後児童クラブ受入児童数	目標値	8,000.0	8,100.0	8,200.0	8,300.0	人
			取組目標値					
	式・定義	当該5月1日現在の放課後児童クラブ受入児童数	実績値	7,212.0				
			達成率	-	-	-	-	%
2	指標名	放課後児童クラブ整備件数	目標値	7.0	8.0	8.0	8.0	件
			取組目標値					
	式・定義	各年度の放課後児童クラブの整備件数	実績値	4.0				
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	453,230	61,431
うち一般財源 (千円)	453,230	61,431

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

クラブ数208所、受入児童数7,212人 平成27年度整備実施クラブ数 4クラブ（浜田市、出雲市、安来市2）

6. 成果があったこと（改善されたこと）

国にとともに、整備費を支援することにより、受入児童数の拡大と一定水準以上の設備確保に寄与している
--

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」 国と協調して市町村に対して、整備費の2/3を支援しているが、市町村の予算措置がなされないため、計画通りに整備が進んでいかないことが予想される。
②困っている状況が発生している「原因」 市町村において必要性は認識しつつも、政策判断として整備が後回しになっている。
③原因を解消するための「課題」 それぞれの市町村の財政運営にかかわることであり、直接的な対応が難しい

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

平成31年度までに積極的に整備を促進する県の方針を丁寧に説明し、市町村の前向きな対応を促す。
--

9. 追加評価（任意記載）

--

・課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。